



# ワカメ養殖通報（臨時1報）

平成25年2月15日

水産技術総合センター 気仙沼水産試験場

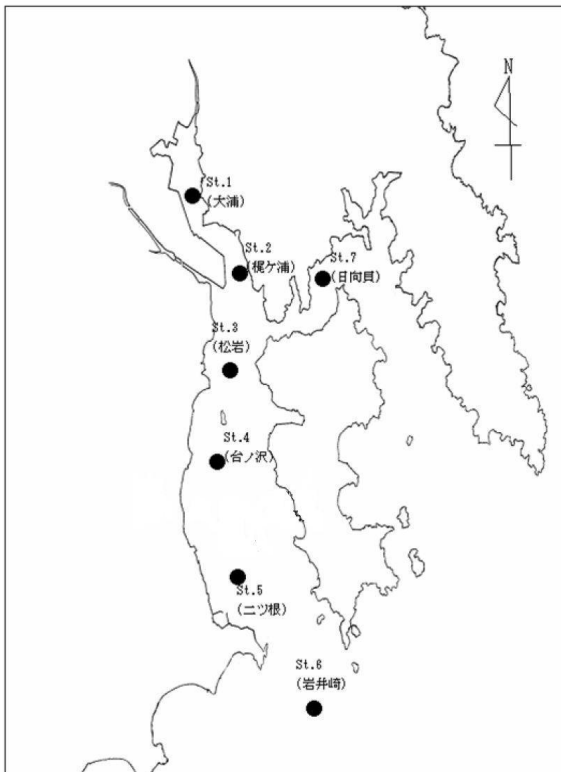
電話 0226(23)6880

各地でワカメの「色落ち」が見られているため、栄養塩の調査を実施しましたのでお知らせします。

## 「栄養塩濃度の低下が見られています」

- ・ 現在見られる「色落ち」は、栄養塩濃度が低下していることが原因と考えられます。
  - ・ 2月13日（水）に気仙沼湾の調査を行ったところ、表層の栄養塩（硝酸態窒素）は2～7  $\mu\text{g}/\text{リットル}$ \*（平均4）と全体的に低くなっていました。
- ※一般的に30  $\mu\text{g}/\text{リットル}$ 以下の濃度が続くと「色落ち」が見られる様になります。

志津川湾については来週調査を行う予定です。  
結果については（臨時2報）でお知らせします。



調査点位置図

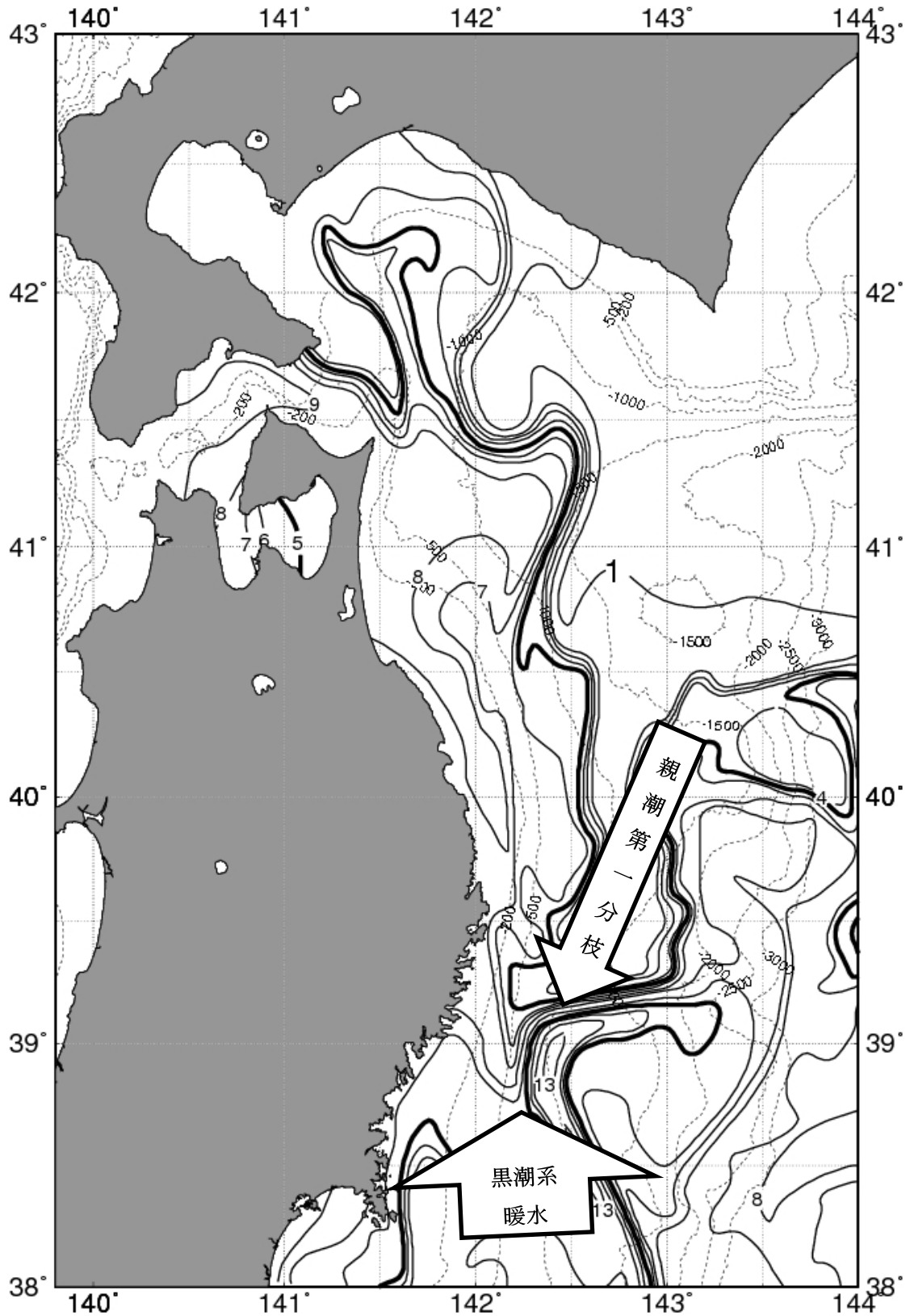
各調査点の栄養塩（硝酸態窒素）濃度  
単位： $\mu\text{g}/\text{リットル}$

調査点／水深(m)	0m	2.5m
大浦	5	2
梶ヶ浦	4	1
松岩	7	3
台ノ沢	2	2
二ツ根	5	1
岩井崎	2	2
日向貝	2	2

### ○今後の見通し

宮城県沿岸には、栄養塩濃度が低い黒潮系の暖水が南から波及しており、栄養塩濃度が高い北からの親潮第一分枝の南下・接岸が阻まれています。

親潮第一分枝が最も南下する時期は、例年4月頃なので、徐々に親潮が南下するものと考えられます。



JAFIC海況日報（沿岸詳細版）2013年2月12日更新を一部改変